

新刊書籍のご案内

フジテレビ営業局(「めっちゃ×2イケてるッ!」プロデューサー)明松功氏推薦!

『その企画、もっと面白くできますよ。』

江崎グリコ×AKB48の「江口愛実」キャンペーンを手掛けた
クリエイティブディレクターが語る、炎上しない程度の「面白い」企画とは。

株式会社宣伝会議(本社:東京都港区 取締役社長:東 彦弥)は、新刊書籍『その企画、もっと面白くできますよ。』を2017年7月1日より、全国書店、インターネットにて順次発売いたします。

長く安定的だった日本のビジネスシーンは、栄枯盛衰の激しい新しい時代に入りました。その変化に負けないスピードで新しい企画を生み出すためには、「面白い」という原動力が有効です。「面白いなんて不謹慎」という考えは捨てて、「面白い」を使いこなす技術を開発していくことで、もっと豊かな企画が生まれます。

本書では、「“面白い/面白くない”の基準が分からない」などと企画立案に悩んでいるすべてのビジネスパーソンに向けて、「人の心を動かし、行動を促す企画」を作るための頭の使い方を解説します。著者が手掛けた話題作、アイスの実「AKB 江口愛実登場」「大人 AKB48」、サノヤス・ヒシノ明昌/企業 CM「造船番長シリーズ」など事例から企画の際の「秘策」をインプットし、「練習問題」でアウトプットすることで実践力を身に付けることができます。

なお、本書は発売前から各所で多くのご期待をいただき、Amazonでもマーケティング・セールス部門で新着ランキング1位を獲得いたしました。



著者からのメッセージ

今、世の中はどんどん変わっています。コミュニケーションもどんどん変わっています。

クリエイティブというのは、そんな状況の中で新しい「面白い」を創造する仕事です。お手本のない作業、前例のない作業、出口の見えない作業なのです。だから、辛い。そして、だから、面白い!

「面白い」を生み出すことや、「面白い」を使って世の中を動かすことは決して楽ではありません。動かす側になるよりも黙って動かされる側にいる方が、遥かに楽だからです。

でも、「面白い」を生み出す苦しみは、実は楽しい苦しみなのです。嫌な仕事を嫌々やる苦しみは、大好物のラーメンを何杯も食べる苦しみと同じで、嬉しい苦しみであり、楽しい苦しみであり、心地よい苦しみです。

そのため、本書をより多くの方に手に取っていただき、どんどん「面白い」を発信し、「面白い」を使って世の中を動かす人が増えてほしいと願っています。「この世にないものは、無限にある。」のだから。

中尾孝年

中尾孝年[著]

2017年7月1日より順次発売 定価 本体 1,700円(+税)/四六判/288ページ/

ISBN:978-4883354023

◆献本希望、著者への取材・講演、書籍のプレゼントキャンペーンなどのご相談も承っております。

◆著者プロフィール

電通クリエイティブディレクター/ディレクター 中尾孝年 氏

広告史に残る話題作となったアイスの実「AKB48 江口愛実登場」を筆頭に「AKB48 殺人事件」、「大人 AKB48」、ポッキー「デビルニコ」、サノヤス造船「造船番長」、塩野義製薬「もしもブラマヨの吉田がもっと早く皮フ科へ行っていたら」など、数々の大ヒットキャンペーンを手がける。

立体的かつ双方向のコミュニケーションを駆使して世の中を巻き込むその手法は「巻き込み型クリエイティブ」と呼ばれている。世界最高峰のカンヌ他、国内外での受賞多数。毎回話題作となるそのアイデアは、広告はもちろん広告外の世界からも高く評価され、今最も注目を集めているクリエイターの一人。

大阪コピーライターズクラブ副会長。東京富士大学客員教授。流通科学大学特別講師。



◆本書の構成・目次

【はじめに】「面白い」は世の中を動かす無尽蔵のエネルギー

【第1章】 ビジネスにおける「面白い」とは何か

【第2章】 「面白い」を機能させる

【第3章】 面白くする技術・実践編～「面白い」で様々な課題を解決する～

【第4章】 面白くする技術・心構え編～みんなが陥りやすい罠～

【第5章】 そして、あなたが面白くなる! ～これが「面白い」の最後の仕上げ～

【おわりに】 新しい「面白い」を創造する仕事

◆編集担当より

社内外のプレゼンで、「君の企画、面白くない。」と言われたことのビジネスパーソンは多いのではないのでしょうか。かといって、あまりにも突飛な企画を出すと、「ビジネスシーンにふさわしくない」と冷ややかな目で見られたり、ネット炎上につながったりといったリスクが伴います。「ビジネスにおける面白い・面白くないの基準って、案外難しい」という話が本書を企画するうえで大きなテーマになっていました。

著者の中尾氏は、多くの人を巻き込み、世の中を動かすプロです。しかし、感覚で仕事をしているわけではなく、「中尾さんだから成功したんじゃないの」と誰もが思っているあのヒットキャンペーンの裏側にも、ちゃんと頭の使い方のコツがあったことが分かります。

読者の皆さまには、本書で中尾氏が経験とともに体得した「秘策」を身に付け、練習問題で発想力を磨いていただくことで、世の中を活性化させる「面白い」企画を生み出していただけたら光栄です。

◆献本希望、著者への取材、講演のご相談はこちら

担当者連絡先

株式会社宣伝会議 書籍企画部

TEL : 03-3475-3030

〒107-8550 東京都港区南青山 3-11-13 <http://www.sendenkaigi.com>